

## ■隠絵～Double Image～

### 【あらすじ】

踊り子と小鳥が出会う。いつの間にか恋に落ちていた二人は、再び出会えるように、あるいはいつまでも一緒にいられるように時間を巻き戻しては二人幸せになる方法を模索していく。踊り子が踊り子らしく生きるために、小鳥が小鳥らしく生きていくために、二人はそれぞれが愛した姿のまま別離を選ぶ。

### 【キャラクター】

#### ・踊り子（募集対象）

旅一座の花形踊り子。15歳ほどの年齢。ほっそりとしたしなやかな身体はとて15歳とは思えぬ色気があり、健康的な肌つやでありながらも、顔つきは非常に妖艶な少女。体躯顔容姿には誰よりも自信があるが、特に自慢はバキバキに割れた腹筋で、必ずへその見える露出の高い服やドレスを身にまとう。舞台上では大陸屈指の踊り子であるオーラをばんばん放つが、舞台を降りれば年相応の好奇心の強さも伺える。

#### ・小鳥（確定済）

とある王国の第20番目の王女様。女子第12番目。母は亡くなっており、実兄のおかげで王宮暮らしを続けられている。17歳の誕生日を目前に控えている。王宮、王国内で一生活を過ごすことが決められている籠の中の鳥という境遇だが、本人は至って普通にその境遇を受け入れて静かに暮らしている。数多いる兄弟姉妹たちの中で一、二位を争う美貌の持ち主だが、本人はドレスにも宝石にも興味がなく、常にシンプルなドレスを身にまとう。長く閉じこもっていたせいも、何事に対しても冷めており、日々つまらない表情をして生きている。踊り子の腹筋を触るのが好き。

#### ・蛇使いの男（確定済）

旅一座の蛇使いの演目を担当する男。ひょうきんな性格でよく金を貸してとせびる姿を目撃されている。

とある王国の中で見世物を生業にしていた。五年前に王子との密やかな恋を終えた後に、旅に出て旅一座に芸を買われて共に旅をすることになる。

#### ・兄王子（確定済）

小鳥さんの実の兄。男子では四番目の王子。非常に賢く優秀な人物で母譲りの華やかさを持ち、息苦しいはずの王宮を鮮やかに生き抜いている。母の後ろ盾のない状況で、父王に見事に認められて自分の地位を勝ち得た。ネガティブで何事もやる気のない妹のことはそれなりに気がかり。

- ・旅一座のお母さん(募集対象)

座長の妻。旅仲間全員の母親役

- ・ソプラノ(セリフなし)

元旅一座の一員でソプラノ歌手。

- ・小鳥の母(セリフなし)

紅いブローチの女 元々はとある下級貴族の娘として生まれた。  
欲望に忠実で、とにかく自信家。